

経営会議の内容

件 名	大和市総合交通施策について
所 管 部	街づくり施設部
日時・場所	令和4年4月20日（水） 9：00 ～ 10：00 研修室
出 席 者	市長、副市長、教育長、病院長、市長室長、政策部長、総務部長、市民経済部長、環境施設農政部長、健康福祉部長、こども部長、文化スポーツ部長、街づくり施設部長、病院事務局長、消防長、教育部長、議会事務局長、街づくり総務課長
提 出 理 由	大和市総合交通施策の改定にあたり、その内容について了承を得るため
会議経過	<p>【主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の改定については、歩くことや外出の楽しさがキーワードになっており、市内に様々な公共施設がある中で、今後どのようにそれらを創出していくかが重要になってくると思う。庁内各部署で組織横断的に取り組めることもあると思うが、具体的に考えていることはあるか。 （所管部） 計画の中では、歩くことが楽しくなるための施策を盛り込んでいるが、具体的にはまだまだこれから検討していく必要があると考えている。例えば身近なところでは、本市が整備した拠点となる公共施設に向かうアクセス上の快適性の向上などが挙げられると思う。また、その他にも、核となるスポットと一体的に滞在快適性向上区域を設定し、楽しさを創出する官民連携の取り組みに対しては、国も補助金を出す動きが出てきているので、こういった制度の活用も視野に入れていきたい。各部署の事業や計画なども踏まえて相乗効果を生み出せるものがあれば、積極的に取り組みを進めていきたい。 ・ 公共施設の付近にエリアを設定し、楽しさを創出していく取り組みについては、施設を所管する部において協力できる部分はあるので、より良い方向性をつくっていけるとよいと思う。 ・ 公共交通に脱炭素の推進を位置付けていることは、時代の流れにも合致している。脱炭素施策としてコミュニティバス車両への次世代自動車を導入する予定はあるか。 （所管部） 自動車メーカーによれば、のろっと型の車両については次世代自動車のラインナップがあるようだが、本市の同型車両については更新時期が到来していないため具体的な導入予定はない。また、やまとん G0型の車両については、現時点で次世代自動車の発売がないようである。今後も情報収集に努めながら検討していきたい。 ・ 交通利便性の向上と、歩くことの調和をバランスよく進めていってほしい。 （所管部） これまでの計画では鉄道、コミュニティバスなど、ハード面の充実が主体となってきた側面があったが、交通利便性が一定程度確保された中であって、今後はその先を見据えた施策を充実していきたい。 ・ 本市では、自転車通行空間の整備など、まちづくりの視点で交通安全対策が進められており、ぜひこの点は継続してほしい。また、子どもたちが生活の中でどのように移動を考えるか、という視点は重要であるので、学校現場としても協力をしていきたい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の計画で新たに加わった外出したくなる、歩きたくなるといった要素は、国の取り組みに先んじた視点とも言えるもので、健康都市を掲げる本市の方向性に合致しており、全体的に良い計画になっていると思う。 ・行政が掲げる交通施策は計画のとおりだが、市民が必要とする交通施策は、例えば、現実的な生活道路の改善なのかもしれない。また、今後、交通手段が変化していく中で、例えば、都市計画道路の必要性を検討していくことがあるかもしれない。そうした内容はこの計画の中で記載しているのか。 (所管部) 計画の中に施策として位置付けてはいないが、新しい考え方や施策にシフトしていくばかりで、既存のものに手を入れないということはあるとあてならないと考えている。そこは現場の職員を含めてしっかりと対応していきたい。道路のあり方は車両の通行量や地域の必要性など、様々な要素を踏まえて議論する必要がある。道路政策はすぐに実現するものではないが国の動向なども情報収集しながら考えていくことが重要であり、今後の課題と捉えている。 ・総合交通施策は地域公共交通計画の役割を持っており、具体的な移動手段に対する計画であると思うが、本市のまちづくりの特徴である「健康」というキーワードが計画の中では「外出」という視点に取り入れられており、本市に合ったわかりやすいものとなっている。今後交通手段は変化していくことも想定されるが、必要な見直しも視野に入れながら、まずはこの計画に基づいて各部署の取り組みをしっかりと進めていってほしい。 ・本市はこれまで、まちにおける拠点となる「点」を整備してきた特徴がある。そうした中で「線」となる交通施策と相まって成果を上げてきた。これからは、線と点に公園の要素を加えていくことが重要である。 ・近年は、国の視点が「健康」という方向に向かっていると感じる。健康の実現には歩くことが非常に重要であり、そうした意味では、今回の改定案には健康の視点がしっかりと取り入れられており、今まで以上に重要な意味を持つと思う。
<p>会議結果</p>	<p>案のとおり、進めていく。</p>